

高橋 孝夫 平政会

当初予算編成に当たり、目玉事業は何か

質 4月の市長選挙を控え、平成26年度当初予算は、通年予算と変わらない積極性を感じる。予算編成等に当たり重点事項として5項目の政策を挙げているが、その中で目玉事業は。

答 「産業の創出と雇用の場の確保」につなげるための園芸メガ団地育成事業、農家支援活動事業、公共施設再生可能エネルギー等導入推進事業、大型七夕推進事業、きみまち阪活性化事業のほか、新たに重点事項に追加した「市民の安全・安心の確保」のための空き家対策事業、浸水対策事業等が26年度当初予算の目玉事業と考えている。

小・中学生のスポーツ活動に財政支援を

質 小・中学生のスポーツ活動が、部員の減少により、会費が少ない中、スポーツの練習試合や各種大会の参加遠征費等に指導者や父兄は多額の負担がかかる。これに財政支援を。

答 市ではスポーツ少年団や中学校体育連盟の各種大会に出場する場合、負担軽減を目的に補助金を交付しているが、小・中学生がスポーツに親しむことは、自主性、協調性、責任感を育成するほか、明るい学校生活にもつながる。また、各種大会での活躍や好成績は、市民を元気づけ、市に活気を与えてくれると考えており、補助内容の見直しなどを検討したい。

その他の質問事項

- 森林育成による木都能代の再生を
- 北高跡地を避難所と軽スポーツ場に
- 二ツ井町史編さん事業

庄司 紘八 よねしろ会

国民健康保険税の割高対策

質 今後は団塊の世代が75歳を迎える超高齢化社会に突入する。その方々が気力・体力を維持し続けて医療費が少なくて済むような社会、生きがいを感じて社会の構築を。

答 市では、健康チャレンジポイント事業等の健康に取り組む事業を周知し、全市民に広げたいと考えている。また、市民が心・体・生活の豊かさを実現するための土台となるのが健康と考えており、他自治体の先行事例を研究しながら、「健康」をキーワードとしたまちづくりを進め、医療費等の抑制を図っていききたい。

文化会館使用に関する条例の見直しを

質 部活動には体育系と文化系があるが、体育館は無料、文化会館は有料では学校教育上の平等性は保たれないのではないかと。文化会館の条例の見直しを行い減免措置を。

答 現在、文化会館には、減免規定がなく、全ての利用団体から使用料を納めていただいている。これまでは支援が必要な団体等に対しては、必要に応じ補助金等に対応しているが、事務手続きの簡素化や効率化などを考慮し、教育的観点からも小・中、高校生の使用料の減免について検討したい。

その他の質問事項

- 民間借り上げの雪捨て場の利用は
- 轉ノ目橋の使用禁止
- 健康講話の全市的展開

信太 和子 市民連合

(仮称)イオン新ショッピングセンター

質 イオンは2015年つまり来年、モール型で開店する予定だが、いまだ建物の配置等の検討をしているとのことだ。出店の本気度は農地転用の手続と開発行為だが、その動きはどうか。

答 農地転用については、東北農政局及び県の担当課へ手続の再開を報告した後、正式な事前協議に向けて、関係機関との協議や社内での検討を進めているとのことである。また、開発行為については、現在、公共施設管理者等と協議しており、同意を得た段階で事前協議の手続に入ることである。

ふるさと納税と特産品PR

質 自分が貢献したい自治体に寄附できるふるさと納税が、地元特産品などの特典の効果もあり、寄附者がふえている。能代のPRと特産品のPRのチャンスであり、検討してはどうか。

答 ふるさと納税に特産品等の特典をつけ、イメージ戦略による納税額アップや特産品のPRを行う自治体も多くなっているが、ふるさと納税の主旨である「ふるさとを思う心」「そこに住む人々を思う心」を大切にしたいという、損得だけではない価値観もあると考えている。今後、シティーセールスの取り組みも勘案しながら、方向性を検討したい。

その他の質問事項

- 秋田DCの反省と立て直し
- 女性の社会進出及び登用
- 能代産業廃棄物処理センター